

# 大雪に伴う除排雪等の対応に関する緊急要望



市長に緊急要望を提出する会派等代表

令和4年1月20日、札幌市議会自由民主党議員会は、自由民主党札幌市支部連合会との連名にて、今冬の記録的な大雪により道幅が狭くなり交通渋滞が発生しており、市民生活に大きな影響がでていることから、早急に取り組等を強化し、市民生活に支障が生じないよう万全の対策を講じられるよう、秋元市長に直接申し入れました。

下記内容は、当日提出した「緊急要望」の内容であります。

令和4年1月20日

札幌市長 秋元克広様

自由民主党札幌市支部連合会  
会長 高木宏壽

札幌市議会自由民主党議員会  
会長 山田一仁

## 大雪に伴う除排雪等の対応に関する申入れ（緊急要望）

1月11日から16日にかけて、発達した低気圧の影響で、市内及び道内は大雪や暴風雪に見舞われ、札幌管区气象台によると1月19日午前9時現在、降雪量220cm、積雪量72cmに達しており、昨年度に比べ累計降雪量65cm、積雪量30cm上回る状況となっています。

このような状況から、市内では暴風雪による吹き溜まりや、道路脇に山積みとなった雪で道幅が狭くなり、片側2車線が1車線となって交通渋滞が発生しており、市電やバス等の公共交通機関の定時運行への支障、ごみ収集や緊急自動車の対応の遅れ等、市民生活に大きな影響が出ています。

本市は年間5mから6mの積雪量がある現状で、様々な実証実験なども行いながら克服の努力をしていますが、今回のような「ゲリラ豪雪」とも呼ぶべき大雪には対応しきれないと考えます。

そのためには、普段から除排雪事業の担い手である建設事業者への体制を含め、強化することが求められているところであります。

については、市においては市民生活を守るため、早急に下記の点についての取組等を強化し、市民生活に支障が生じないよう万全の対策を講じられるよう要望します。

### 記

- 1 公共交通の定時運行や自動車通行の円滑化を図るため、更なる運搬排雪に努めること。
- 2 市民生活を守るため、ごみ収集や緊急自動車の対応が確保できるよう、生活道路の除雪について効果的な対策を講じること。
- 3 市民生活の安全を確保するため、特に独居高齢者等に対し、地域と連携し事故等を未然に防ぐ対策を講じること。
- 4 19日に始業式を迎えた小学校通学路の確保をはじめ学校周辺の除排雪作業を早急に進め、生徒・児童の通学の安全対策にあたること。
- 5 今後の除排雪事業に支障が生じないよう、今回負荷のかかっている事業者支援策等を踏まえ適切な補正予算等の措置及び国に対し特別交付税の財源措置を講じること。

以上